

事業完了報告書（実行団体）

事業名:	災害時に誰もが安心できる環境づくり
資金分配団体名:	一般財団法人日本未来創造公益資本財団
実行団体名:	一般社団法人あゆみ
実施時期:	2021年4月～2022年2月
事業対象地域:	九州エリア
事業対象者:	九州内の重度心身障がい児さんや、医療的ケア児さんをお預かりしている通所施設、熊本県域子ども食堂運営者、第3期(半年後をめぐり)九州各県の子どもネットワークの代表者を介して、各県の子ども食堂運営者、生活困窮支援者、子ども、親、高齢者、障がい者等、困り感のある方

Version 3.2

日付: 2022年3月14日

I. 事業概要

事業実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ○当社が運営している熊本市内の重度心身障害児さんの通所施設を受け入れ拠点とし、自家発電システム（走行充電・太陽光発電⇒リチウム蓄電池で蓄電）の備わったキッチンカーを配置し、終日配電ができる仕組みを作る。 ○被災地で、多様な形で、炊き出しのできるキッチンカーを造作する。 ○シンポジウム等の開催（専門家を交え、災害時に備えた講演会の実施、啓発活動や企業等との意見交換）を開催する。 ○社会的弱者といわれる方たちへの理解を促すため、地域での炊き出しと共に勉強会の開催をおこなう。 ○通信設備を整え、zoomなどで防災やコロナ対策などの知識について配信を行う。
--------	---

II. 課題・事業設計の振り返り

課題設定、事業設計に関する振り返り	<p>社会的弱者の方たちがコロナ禍の中、生きていくための生命線が脆弱になりつつあることが分かった。重症児の預かり施設も、子ども食堂運営者も、非常に不安な気持ちを抱え活動を行っている。さらに、衛生面の確保などの運営費用がかさみ、運営に苦悩しながら疲弊していく姿も見られる。このような中で災害が起こったら、どうなるのだろうと考える場面も多々見られた。コロナ禍における社会経済の悪化により、厳しい環境で生活している社会的弱者の家庭はさらに深刻な環境を強いられるようになってきた。行政や社協の様々な支援制度はあるが、その制度が利用できない子育て家庭や、困窮したご家庭が多く見られ、厳しさが増す一方だった。</p> <p>また、重度心身障害児を預かる各現場でも、学校や保育園などに行くことができない、外に出られないということで、ご家族も含めて深刻な事態に陥っている。大人だけではなく、子どもたちも取り巻く環境に多大な影響を及ぼす結果が、浮き彫りになってきた。災害支援と言うのは、実際に災害が起こった時に、どこにつながり、どのように支援するのかを、その時の状況により柔軟に変えて行う必要があると思われる。</p> <p>実際に稼働するにあたっては、様々な社会的弱者を支援する運営者が活動に自信を持ち、災害時にも自分達で動ける環境を作ることや、災害時に支援の手があることで、安定した活動ができ常に安心感のある中で運営ができるような、支援が必要である。重症児施設の方々と話しても、「自分の施設に応援に来てくれる仕組み」であると思われやすいことが分かった。</p> <p>子ども食堂でも同様のことが考えられるので、今後の、後方支援のあり方についても、わかりやすく説明が必要であると思われる。</p> <p>災害時の対応支援ができる24時間蓄電可能で、かつキッチンカーの配置をすることで、一つのモデルができたと思われる。</p> <p>防災士をはじめ各県の子ども食堂コーディネーターと連携して、災害時にコーディネートができる人材を配置することができたことは非常に有意義だった。</p>
-------------------	--

III. 今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）※複数設定の場合はコピーし複数記載ください。

①受益者	②課題	③今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）	④指標	⑤目標値・目標状態	⑥結果	⑦考察
その他	その他	蓄電・キッチンカーの整備事業 キッチンカー準備	2021年3月～2022年2月	1台整備配置	1台整備配置完了	整備・納車は遅延したが、12月中に納車完了。その後、九州沖縄の各県の事業所・行政向けに導入発表。
その他	その他	説明会・講習会・研修の実施	2021年3月～2022年2月	年4回以上の開催を目指す。	実施完了	衛生管理、事業計画書策定等の研修会、勉強会を実施。
その他	その他	1月、2月にシンポジウム等の開催	2021年3月～2022年2月	防災フェス、食フェス 2回開催	2回開催	1月、2月ともに、各30先（法個人）の参加者あり。
その他	その他	災害時支援コーディネーター配置	2021年3月～2022年2月	組織内の防災士育成。	達成	学習会など随時開催。 この1年で4名の防災士が⇒6名（外部含む）へ増加。

IV. アウトカム（事業実施以降に目標とする状況）*

事業実施以降に目標とする状況	今回避難所、福祉避難所に行けないような要配慮者の方たちを中心に支援していく体制を作ることで、地域の要配慮者の方たちや、そのご家族が初期から安心して過ごせる仕組みを作る。また初期初動で、電気の供給が終了後は直ちに炊き出しのできる体制に移行し、要配慮者を中心に温かな食事をとることのできる仕組みを作り、日頃から訓練を行っていた、子ども食堂と連携して、安定供給になるまで支援を行う。
考察等	<p>事業実施中に各県の重症児通所施設とハブとなる施設が2つ以上、連携協力ができているハブとなる子ども食堂が各県に3つ以上と目標値に設定をしていたが、電話などでの聞き取りや、対応時に連携ができるところを増やすことができた。今回連携協定を結んではいないが、大変有意義で前向きな話があった。</p> <p>また初期初動で、電気供給の終了後は炊き出し体制に移行し、要配慮者を中心に温かな食事をとれる仕組みを作り、子ども食堂と連携して、安定供給になるまで支援を行う仕組みの説明を各子ども食堂や重症児預かり施設の方に話すことで、災害時のバックアップ体制についての援助ができることをお伝えし、大変安心されていた。</p> <p>災害時停電などの不具合の中でも電気設備の必要な医療的ケア児が、安心して過ごすことができる環境が整い、各県のいくつかの子ども食堂は地域の防災拠点として活動ができるようになった。</p> <p>各県の重心施設とは、災害時に情報が入り、各県の子ども食堂と、炊き出しが可能な団体を確保するなどの連携ができた。事業では、防災キッチンカーの納品が半年以上遅れた。それにより実車を見て説明をする機会は少なかったが、助成が決まった初期段階よりリストアップを行い電話などでお話しする時間を取ることができたため、次年度につながる活動になったと感じた。</p>

V. 活動

活動	進捗	概要
防災キッチンカーの紹介、防災関係での打ち合わせ伝達、運用、連携の話	計画通り	福岡、北九州… 子ども食堂ネットワーク代表・重度障害児多機能デイサービス・子ども食堂フードパントリー現場
防災キッチンカーの紹介、防災関係での打ち合わせ伝達、運用、連携の話	計画通り	宮崎 … 市議会議員
防災キッチンカーの紹介、防災関係での打ち合わせ伝達、運用、連携の話	計画通り	鹿児島、鹿児島2回目… 地域自治会・子ども食堂ネットワーク代表・重度障害児多機能デイサービス
防災キッチンカーの紹介、防災関係での打ち合わせ伝達、運用、連携の話	計画通り	佐賀… 子ども食堂ネットワーク代表・重度障害児多機能デイサービス
防災キッチンカーの紹介、防災関係での打ち合わせ伝達、運用、連携の話	計画通り	長崎… 子ども食堂ネットワーク代表・重度障害児多機能デイサービス・信用金庫職員
防災キッチンカーの紹介、防災関係での打ち合わせ伝達、運用、連携の話	計画通り	名古屋… 重度障害児多機能デイサービス・生活介護事業所 福祉避難所等
防災キッチンカーの紹介、防災関係での打ち合わせ伝達、運用、連携の話	計画通り	沖縄… 子ども食堂ネットワーク代表・重度障害児多機能デイサービス・学校の先生・児童館・子ども食堂 (予定)
防災キッチンカーの紹介、防災関係での打ち合わせ伝達、運用、連携の話	計画通り	大分… 子ども食堂ネットワーク代表・重度障害児多機能デイサービス・社協 (予定)
防災キッチンカーの紹介、防災関係での打ち合わせ伝達、運用、連携の話	計画通り	熊本、熊本市、御船、玉名、阿蘇、人吉、荒尾、宇城市、子ども食堂ネットワーク代表・重度障害児多機能デイサービス・社協、市議会議員、県議、県庁職員
蓄電・キッチンカーの整備	計画通り	東京のキッチンカー制作会社さんと発電システムの業者さんとの打ち合わせ
蓄電デザイン打ち合わせ 製作	計画通り	東京のキッチンカー制作会社さんと発電システムの業者さんとの連絡調整
シンポジウム開催 (講演会)	計画通り	1月15日本開催。1月16日、17日防災カー紹介。2月27日、第2回開催。 計2回開催
災害時支援コーディネーター	計画通り	学習会など随時開催 この1年で4名の防災士が⇒6名(外部含む)へ
通信設備を整えzoom配信	ほぼ計画通り	配信の練習と、シンポジウム開催
あゆみがある重心施設を、防災時の荷物などの搬入受け入れ拠点となるような整備	計画通り	整備完了。
自家発電システム(走行充電・太陽光発電⇒リチウム蓄電池)の備わったキッチンカーの設計製作 納車	計画通り	コロナなどの影響で納車の時期が数カ月遅れたが、無事に納車。九州沖縄の各県を啓発で巡回。
1月、2月にシンポジウム等の開催	計画通り	開催。2回とも40名前後の方が参加して下さった。
社会的弱者といわれる方たちへの理解を促すため、地域での炊き出しと共に勉強会の開催をおこなう。	計画通り	本格的な炊き出しは2カ所、コロナが収まり次年度に開催したいとの依頼が複数あり、防災食などを配布して啓発を行った。
動画を作成し配信、キッチンカーへの太陽光パネル製作者さんが作成済	計画通り	今後自分たちでも、動画の発信ができるようにしていく。3月中にも配信予定。

VI. 想定外のアウトカム、活動、波及効果など

想定外のアウトカム、活動、波及効果など	<p>子ども食堂ネットワークの各県代表者との協議で、今回は紹介や、防災食品の使い方や、防災訓練、防災食品の提供などに終わった。しかし、コロナ収束後に、再度来てほしいとの依頼が多数有。防災訓練の依頼がある。</p> <p>最初想定していなかった地方議員や自治会の方々からの要望で、説明を行うことが複数回あった。</p> <p>医療的ケア児新法の面からも、社協や行政に同じ様な物を作らせたいので説明をしてほしいとのニーズがあった。(次年度行う)</p> <p>当初の想像通り、防災カーとしては、男性が車の機能に興味を持たれることが多かった。</p> <p>可視化できるシステムを使い、電気の入りと出を説明したことで、家庭での電気についても質問があったりした。</p> <p>キッチンカーとしてクレーブなどを焼きながら防災の話をするのがとても有効だった。</p>
---------------------	--

VII. 事業終了時の課題を取り巻く環境や対象者の変化と次の活動

課題を取り巻く変化	<p>本事業を行う中で、医療的ケア児を預かるデイサービス施設の多くが、災害時において電気設備への不安が非常に大きく、機材を揃えたいが金銭的な負担が大きいため蓄電池などの設置ができていないことが分かった。また子どもたちのデイサービス事業所でもBCP(事業継続計画)の作成が必要になり、その中で防災関連の記載が必要になっているためアドバイスなどを複数団体に行った。各県の子ども食堂運営者の方からは、実際に災害時どこまで動けるのか分からないとの不安の声をお聞きした。これらを踏まえて今後各県の防災フェスなどでの啓発活動を継続して行う。</p> <p>また、災害時連携をとる予定の方(キーマン)が確定できたため、災害時には声掛け連携を行い、被災した現地での動きができるようにする。</p> <p>子どものおやつ作りや離乳食研修、高齢者の食事などの研修会 防災食クッキング、ローリングストックなどの話の中から、楽しく防災を伝える工夫を行い、今後は少しずつ防災意識が高まるよう対象を広げていく。</p>
-----------	---

VIII. 他団体との連携

連携先	実施内容・結果
九州沖縄ONETEAM	情報提供、九州沖縄地域への訪問、防災についての協働、共通理解
一般社団法人全国重症児者デイサービス・ネットワーク	情報提供、九州沖縄地域への訪問、名古屋への訪問を行うことでの、防災についての共通理解
那覇市社会福祉協議会	情報提供、九州沖縄地域への訪問、防災についての協働、共通理解

IX. インプット ※事業完了月の月次収支管理簿の金額を入力ください。(精算金額と一致させる必要はありません)

		計画額	実績額	執行率
事業費	直接事業費	11,585,266	11,771,714	101.6%
	管理的経費	700,000	700,000	100.0%
合計		12,285,266	12,471,714	101.5%

補足説明	事業完了時に助成金の不足分185,940円を団体口座より支払った。
------	-----------------------------------

X. 広報実績

広報内容	内容
1.メディア掲載 (TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等)	○2月28日掲載 熊日新聞朝刊 https://kumanichi.com/articles/572354 ○2月28日 RKKラジオ、FM熊本 ○イベント関係は熊本市役所の公式LINEなど ○KKT テレビタミン コロナ収束後に、SDGsからの視点で取材したいとの依頼がある。
2.広報制作物等 当該事業費を使って制作したもの	チラシ2種 各1000部 SNSなどでの告知利用
3.広報制作物、購入物等でシンボルマークの活用方法 (事例)	購入した大型物品にシールなどを貼付。
4.報告書等	

XI. ガバナンス・コンプライアンス実績

①規程類※の整備実績 ※規程類：定款・規程及び準ずる文書類(指針・ガイドライン等を含む)	状況	内容
1.事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。	完了	
2.上記設問1で「整備中」の場合は、事業開始時と比較して、整備状況がどのように改善されたかを記載してください。		
3.整備が完了した規程類を自団体のwebサイト上で広く一般公開している	未公開	年度明けの5月の役員会の時に提案予定、6月中にHPやブログにUPの予定
4.変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。	変更はなかった	
②ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1.社員総会、評議員会、理事会は、規程類の定める通りに開催されていますか。	はい	
2.利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。	はい	
3.関連する規程類や資金提供契約の定めどおり情報公開を行っています	はい	
4.コンプライアンス委員会またはコンプライアンス責任者を設置している	はい	
5.ガバナンス・コンプライアンスの整備や強化施策を検討・実施しました	はい	「コンプライアンス規定」を改訂中。
6.報告年度の会計監査はどのように実施しましたか。 (実施予定の場合含む) (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 外部監査	外部監査は 企業の総合病院CACの子会社のTSCさんに依頼 内部監査は、会計後、監事齋藤氏に依頼
	<input checked="" type="checkbox"/> 内部監査	
	<input type="checkbox"/> 実施予定はない	
7.本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、	いいえ	
8.内部通報制度は整備されていますか。	はい	各事業所の管理者を通報窓口になっている。